

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
公益目的事業推進準備資金	0	26,600,000	0	26,600,000
小 計	0	26,600,000	0	26,600,000
合 計	100,000,000	26,600,000	0	126,600,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
小 計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
特定資産				
公益目的事業推進準備資金	26,600,000	(0)	(26,600,000)	(0)
小 計	26,600,000	(0)	(26,600,000)	(0)
合 計	126,600,000	(0)	126,600,000	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。 (単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	237,288,940	237,288,940	0
什器備品	20,641,563	20,641,557	6
合 計	257,930,503	257,930,497	6

附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。